コアマモが和歌山県白浜町瀬戸漁港へ初出現

Shin KUBOTA : First appearance of *Zostera japonica* at Seto harbour, Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan

久保田　信

和歌山県田辺湾ではアマモ調査がよく実施されているが（大南ほか，2010）、田辺湾に隣接する鉛山湾にある白浜町瀬戸漁港の最奥部で、2012年に初めてコアマモ *Zostera japonica* が出現したので報告する。

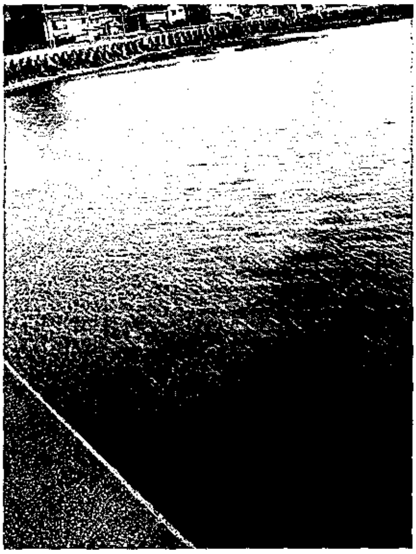

図１，２　和歌山県白浜町瀬戸漁港最奥部岸壁前のコアマモの２パッチ（2012年4月12日撮影）

この漁港で10年余りほぼ毎日定点観察を実施しているが、2012年3月中旬にアマモ類が初めて生育した。コアマモは港の最奥部の2箇所の水深1mの所に小さなパッチとして出現したが、5月末までにそれらは拡大した（図１，２）。6月下旬になるとコアマモの先端部が切れて多数の切れ端が港のあちこちに浮遊し、大量に漂着がみられ（図３）、7月中旬にはパッチは縮小した。少なくとも8月中旬にはコアマモの下部はまだ消滅せずに残っている。

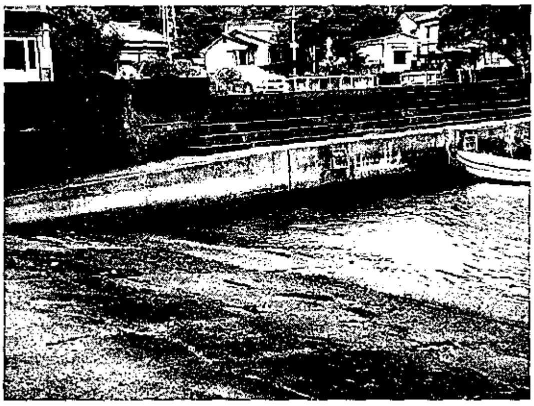

図３　和歌山県白浜町瀬戸漁港の最奥部の岸壁スロープに大量に漂着したコアマモ（2012年6月26日撮影）

引用文献

大南真緒・中島敦司・竹内照文・山本将功・仲里長浩．2010：紀伊半島西部の田辺湾におけるアマモ場の経年変化．南紀生物，52 (1)，18-23.

京都大学フィールド科学教育研究センター
瀬戸臨海実験所
（〒649-2211　西牟婁郡白浜町459 ）